

平成26年度 大規模小売店舗立地法届出状況 (九州地域)

平成27年10月

九州経済産業局 産業部 流通・サービス産業課

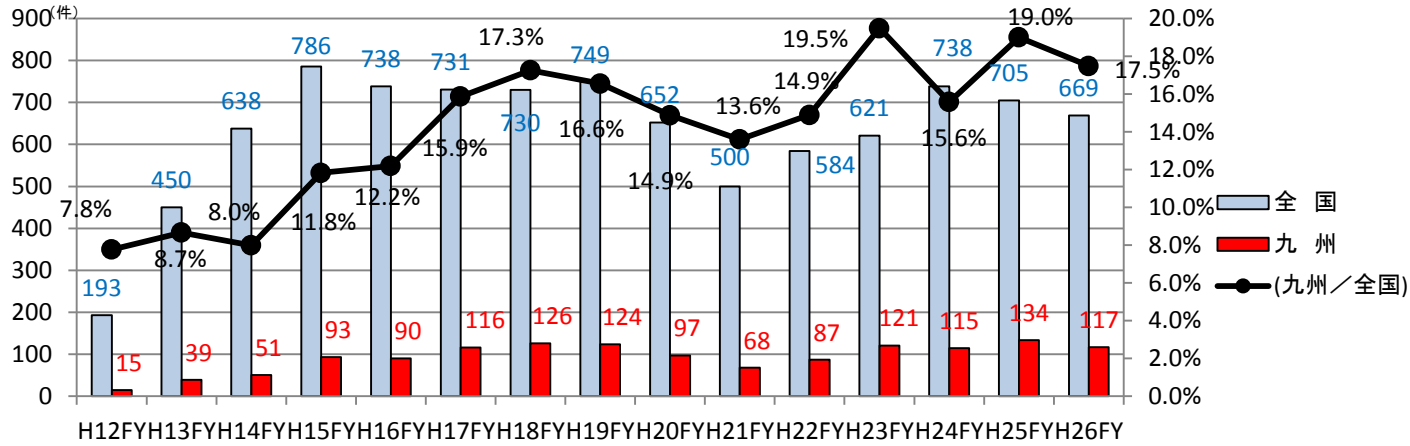
目次

1. 新設届出件数
2. 各県・政令市別新設届出件数
3. 新設届出店舗面積
4. 店舗面積規模別新設届出件数
5. 小売業者（核店舗）業態別新設届出件数
6. 小売業者（核店舗）別新設届出件数
7. 変更届出件数（九州）

1.新設届出件数

- ◆平成26年度の九州地域の新設届出（法第5条第1項）は117件。（前年比▲12.7%）
- ◆全国の届出件数は669件（前年比▲5.1%）、九州は関東（209件）に次ぐ届出件数で全体の17.5%を占めている。

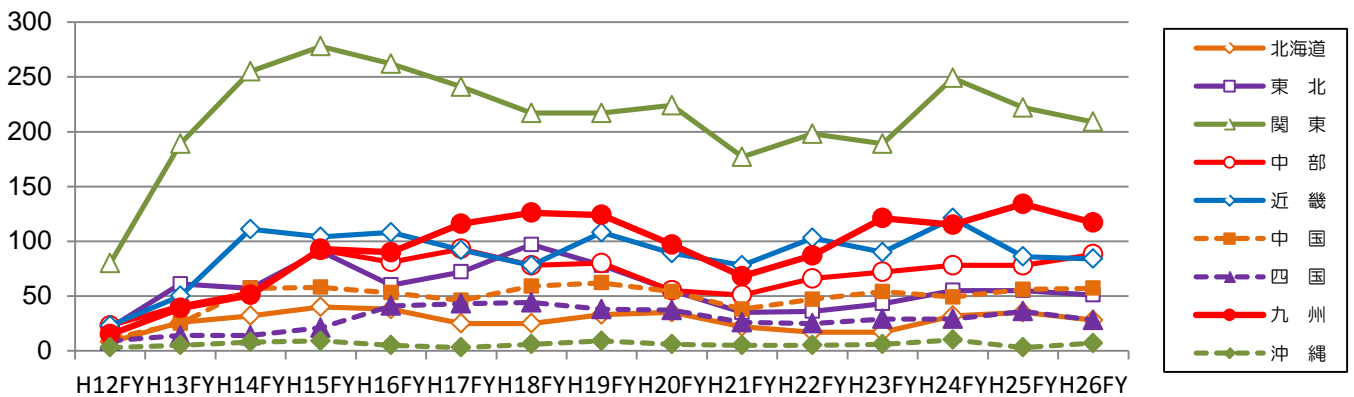
【新設届出件数の推移(九州・全国)】



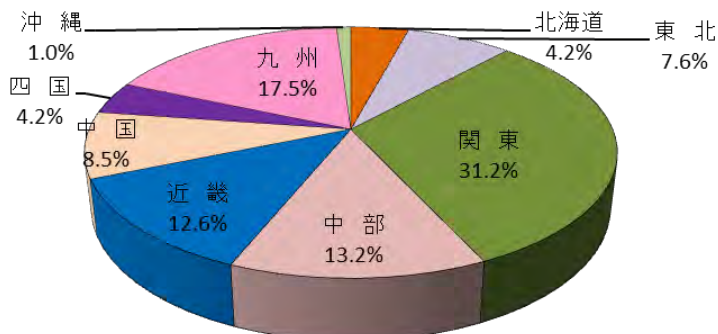
【新設届出件数の時系列表(局別)】

	H12FY	H13FY	H14FY	H15FY	H16FY	H17FY	H18FY	H19FY	H20FY	H21FY	H22FY	H23FY	H24FY	H25FY	H26FY
北海道	8	26	32	40	38	25	25	33	35	22	17	17	32	35	28
東北	21	61	57	91	60	72	97	78	55	35	36	43	55	55	51
関東	80	189	255	278	262	241	217	217	224	177	198	189	249	222	209
中部	23	41	53	92	81	93	78	80	55	51	66	72	78	78	88
近畿	23	50	111	104	108	92	78	108	89	78	103	90	121	86	84
中国	11	25	57	58	53	46	59	62	54	38	47	54	49	56	57
四国	9	14	14	21	41	43	44	38	37	26	25	29	29	36	28
九州	15	39	51	93	90	116	126	124	97	68	87	121	115	134	117
沖縄	3	5	8	9	5	3	6	9	6	5	5	6	10	3	7
合計	193	450	638	786	738	731	730	749	652	500	584	621	738	705	669

【新設届出件数の推移(局別)】



【新設届出件数の局別の割合】



2.各県・政令市別新設届出件数

- ◆福岡県(福岡市・北九州市含む)が九州地域の2割以上を占める。
- ◆佐賀県(6→14)、長崎県(14→15)、大分県(13→18)、鹿児島県(7→10)で前年度比増で推移。

【新設届出件数の時系列表(九州局管内の県・政令市別)】

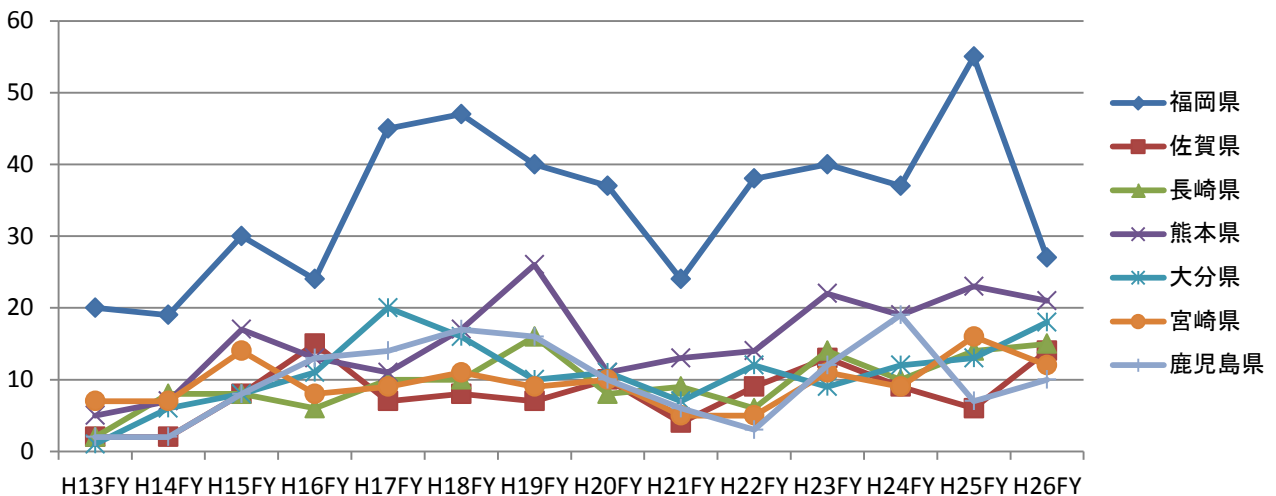
(件)

	H12FY	H13FY	H14FY	H15FY	H16FY	H17FY	H18FY	H19FY	H20FY	H21FY	H22FY	H23FY	H24FY	H25FY	H26FY
福岡県	7	20	19	30	24	45	47	40	37	24	38	40	37	55	27
福岡市	1	6	5	6	3	11	4	6	7	7	15	4	4	7	6
北九州市	4	4	4	7	9	7	16	5	6	4	4	6	6	10	5
佐賀県	-	2	2	8	15	7	8	7	10	4	9	13	9	6	14
長崎県	2	2	8	8	6	10	10	16	8	9	6	14	10	14	15
熊本県	1	5	7	17	13	11	17	26	11	13	14	22	19	23	21
熊本市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	5	7
大分県	2	1	6	8	11	20	16	10	11	7	12	9	12	13	18
宮崎県	1	7	7	14	8	9	11	9	10	5	5	11	9	16	12
鹿児島県	2	2	2	8	13	14	17	16	10	6	3	12	19	7	10
合計	15	39	51	93	90	116	126	124	97	68	87	121	115	134	117

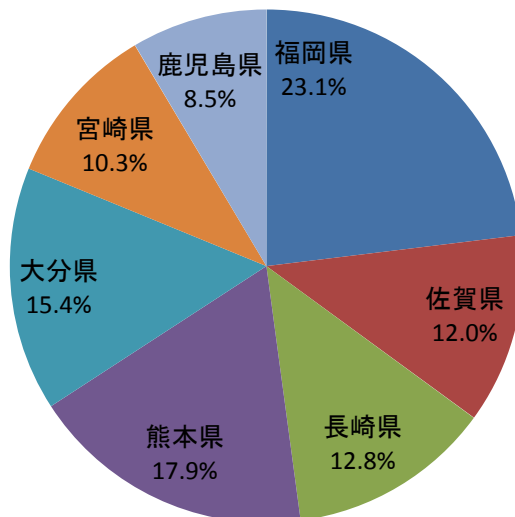
※熊本市は24年度から政令市に移行

【新設届出件数の推移(九州局管内の県別)】

(件)



【九州内における新設届出件数の県別の割合】



3.新設届出店舗面積

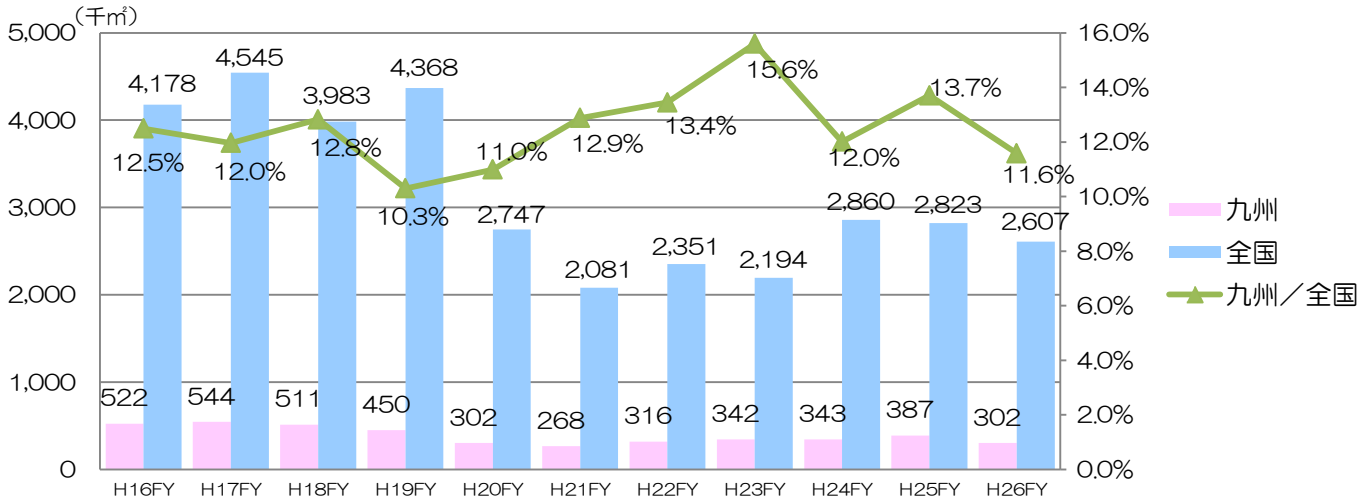
◆平成26年度の九州地域の新設届出の店舗面積合計は30.2万㎡（全国の11.6%）、平均店舗面積は2,581㎡と全国平均と比べると10年連続で下回っている。

【届出面積の合計】

(㎡)

	H16FY	H17FY	H18FY	H19FY	H20FY	H21FY	H22FY	H23FY	H24FY	H25FY	H26FY
九州	521,711	543,609	510,850	449,770	301,915	267,978	316,093	342,248	343,408	386,786	301,937
全国	4,177,524	4,544,668	3,983,499	4,367,556	2,746,827	2,080,813	2,350,671	2,193,911	2,859,592	2,822,722	2,607,050

(千㎡)

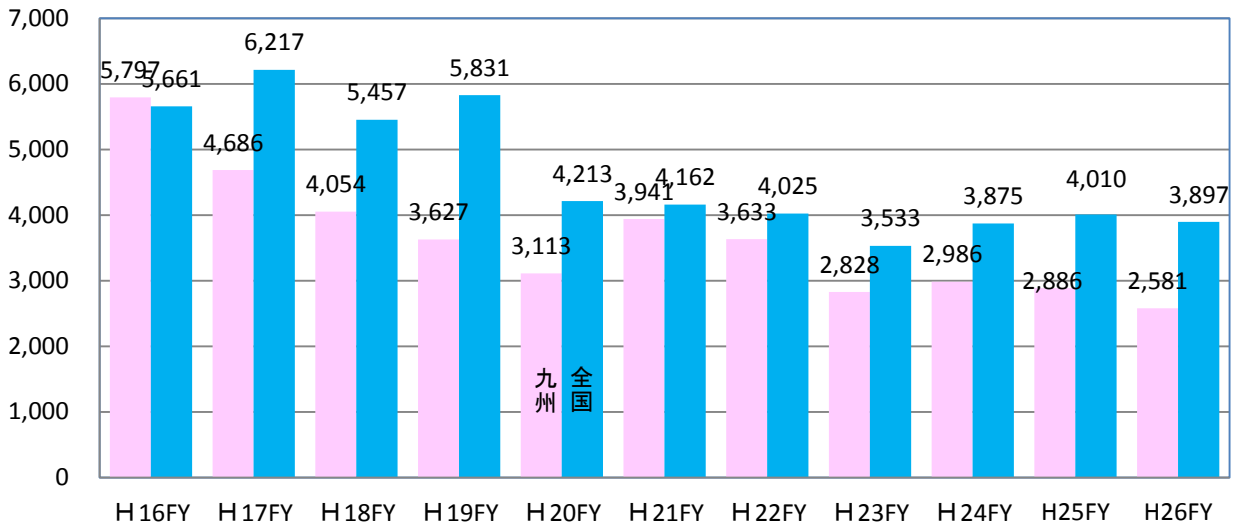


【届出平均店舗面積】

(㎡)

	H16FY	H17FY	H18FY	H19FY	H20FY	H21FY	H22FY	H23FY	H24FY	H25FY	H26FY
九州	5,797	4,686	4,054	3,627	3,113	3,941	3,633	2,828	2,986	2,886	2,581
全国	5,661	6,217	5,457	5,831	4,213	4,162	4,025	3,533	3,875	4,010	3,897

(㎡)



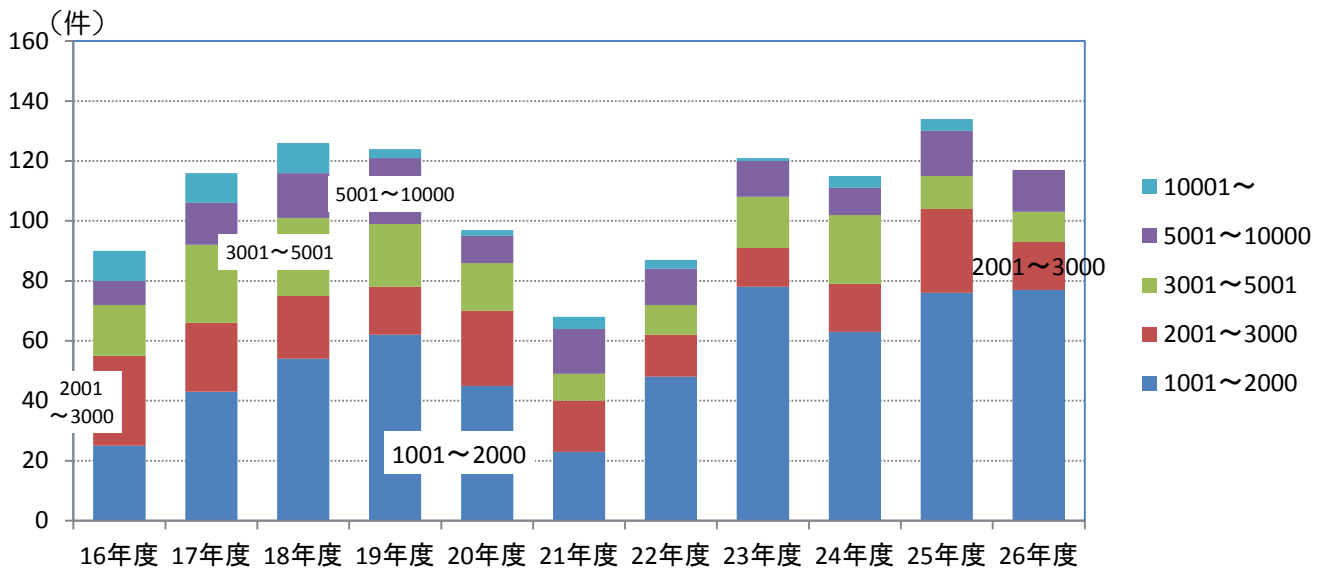
4.店舗面積規模別新設届出件数

- ◆26年度の届出件数117件のうち店舗面積2,000㎡以下が77件と全体の65.8%を占め、全国に比べ小規模の店舗の割合が多い。
- ◆九州における店舗面積10,000㎡超は0件（大店立地法施行以来初めて）。

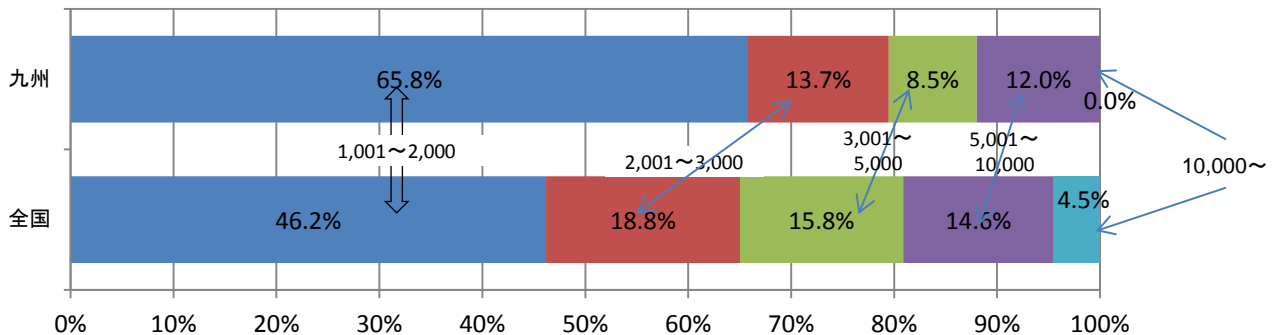
【九州の店舗面積別 新設届出件数の推移】

単位：件

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
1001～2000㎡	25	43	54	62	45	23	48	78	63	76	77
2001～3000㎡	30	23	21	16	25	17	14	13	16	28	16
3001～5001㎡	17	26	26	21	16	9	10	17	23	11	10
5001～10000㎡	8	14	15	22	9	15	12	12	9	15	14
10001㎡～	10	10	10	3	2	4	3	1	4	4	0
計	90	116	126	124	97	68	87	121	115	134	117



【全国と九州の規模別の構成比比較(26年度)】



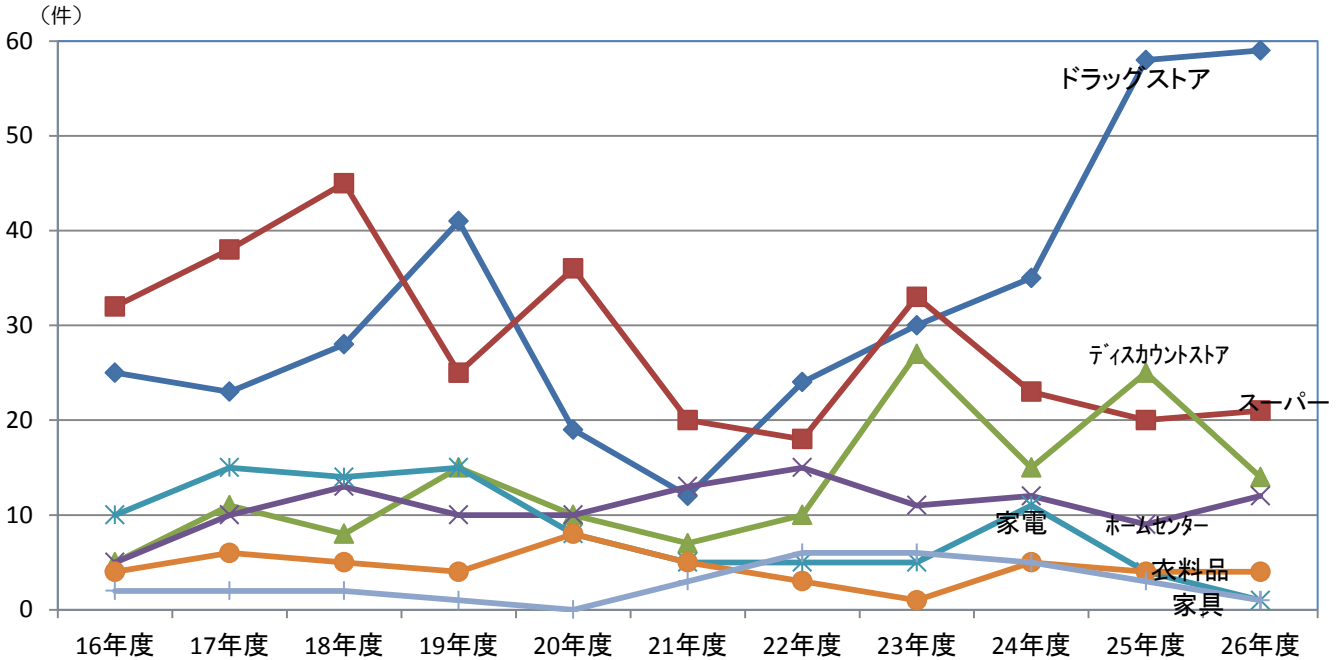
【店舗面積別届け出件数(局別)】

	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	全国計
1,001～2,000㎡	14	16	72	29	37	41	20	77	3	309
2,001～3,000㎡	5	9	49	21	18	4	3	16	1	126
3,001～5,000㎡	2	10	45	14	13	6	4	10	2	106
5001～10,000㎡	5	12	32	17	12	5	1	14	0	98
10001㎡～	2	4	11	7	4	1	0	0	1	30
計	28	51	209	88	84	57	28	117	7	669

5.小売業者(核店舗)業態別新設届出件数

- ◆26年度届出件数117件のうちドラッグストアを「核店舗」とするものが、59件と全体の50.4%を占めている。
- ◆ドラッグストアが5年連続で前年を上回った。

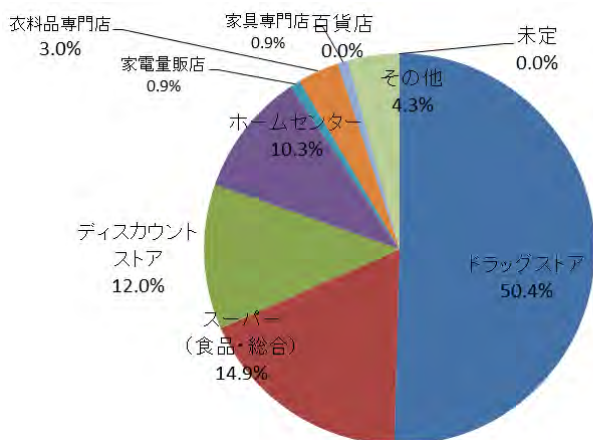
【核テナントの主要業態の推移】



単位：件

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
ドラッグストア	25	23	28	41	19	12	24	30	35	58	59
スーパー（食品・総合）	32	38	45	25	36	20	18	33	23	20	21
ディスカウントストア	5	11	8	15	10	7	10	27	15	25	14
ホームセンター	5	10	13	10	10	13	15	11	12	9	12
家電量販店	10	15	14	15	8	5	5	5	11	4	1
衣料品専門店	4	6	5	4	8	5	3	1	5	4	4
家具専門店	2	2	2	1	0	3	6	6	5	3	1
百貨店	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
その他	5	11	11	10	3	2	3	6	8	9	5
未定	1	0	0	2	3	1	3	2	1	2	0
合計	90	116	126	124	97	68	87	121	115	134	117

【核テナントの主要業態の割合(26年度)】

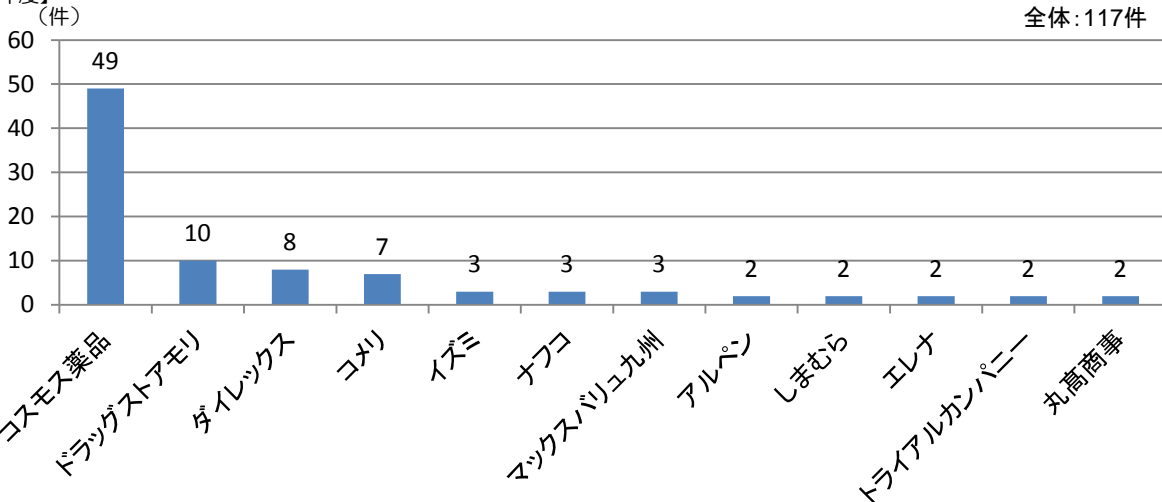


(注)事業者のHP等から判断して、業態を分けておりますが、各業態間の垣根が低くなっており、1つの業態に限定することが難しい店舗もあります。本データは傾向を見るための目安としてご覧ください。

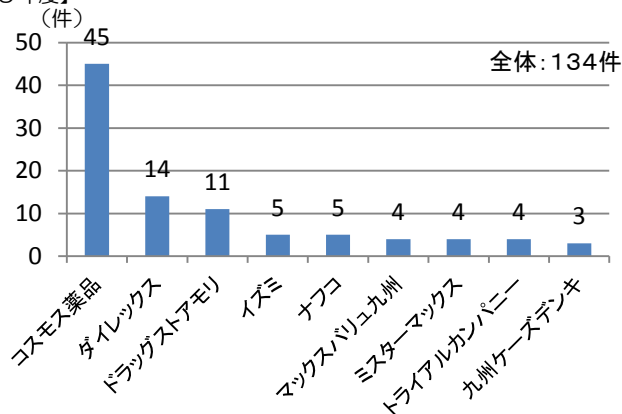
6.小売業者(核店舗)別新設届出件数

◆コスモス薬品(福岡市)が49件で13年連続最多。ドラッグストアモリ(福岡県朝倉市)が2位となり、引き続き、ドラッグストアの新設が高水準で推移。

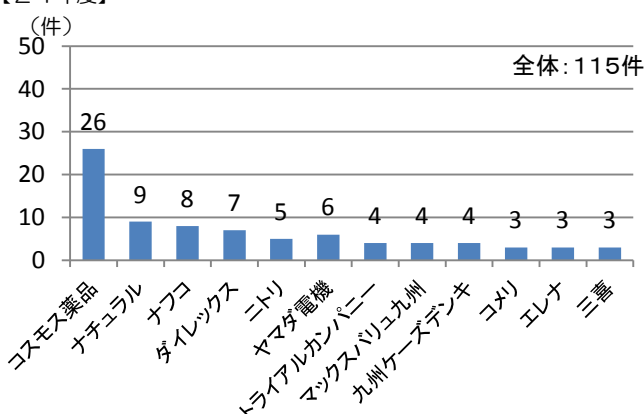
【26年度】



【25年度】



【24年度】



※ナチュラル(株)は25年度に(株)ドラッグストアモリに社名変更

【14～23年度】

23年度		22年度		21年度		20年度		19年度	
コスモス薬品	26	コスモス薬品	22	コスモス薬品	10	コスモス薬品	15	コスモス薬品	22
ダイレックス	24	コメリ	9	ナフコ	6	マックスバリュ九州	11	ナチュラル	19
ナフコ	7	ダイレックス	6	ニトリ	3	ナフコ	7	トライアルカンパニー	8
ニトリ	6	ニトリ	5	しまむら	3	しまむら	6	ナフコ	6
マックスバリュ九州	5	ナフコ	4	トライアルカンパニー	3			九州ケースデンキ	5
ナチュラル	4	マックスバリュ九州	4	ロッキー	3			ヤマダ電機	5
タイヨー	4	九州ケースデンキ	3						
届出全体数	121	届出全体数	87	届出全体数	68	届出全体数	97	届出全体数	124

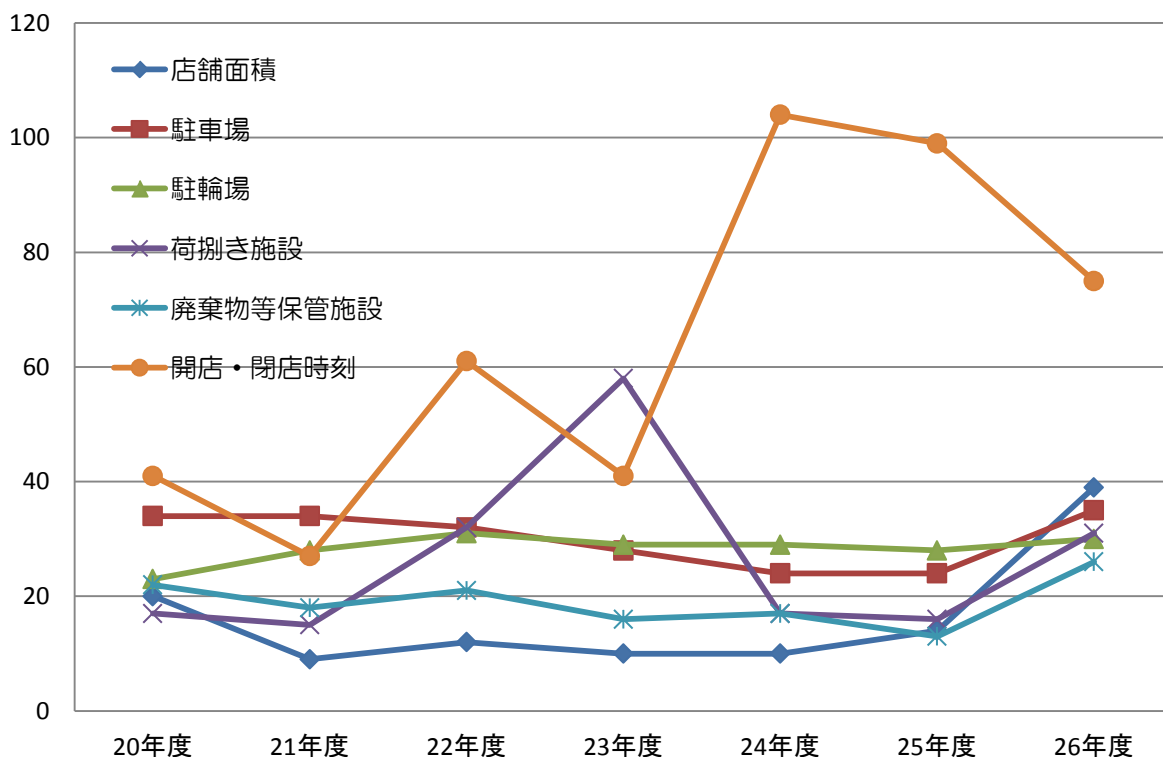
18年度		17年度		16年度		15年度		14年度	
コスモス薬品	21	コスモス薬品	20	コスモス薬品	24	コスモス薬品	22	コスモス薬品	5
ナフコ	13	ナフコ	8	イオン九州	6	マックスバリュ九州	6	イオン九州・JUDCO	5
マックスバリュ九州	10	マックスバリュ九州	6	マックスバリュ九州	7	ナフコ	5	ナフコ	5
ヤマダ電機	8	ヤマダ電機	5	ヤマダ電機	4	しまむら	5	しまむら	5
ナチュラル	7	ベスト電器	4	ナフコ	3	ヤマダ電機	3	コジマ	4
		イオン九州	4	三喜	3	デオデオ	4		
				中村ストア	3				
届出全体数	126	届出全体数	116	届出全体数	90	届出全体数	93	届出全体数	51

7.変更届出件数（九州）

- ◆平成26年度の九州地域の変更届出件数は、前年度比▲11.1%減の120件。
- ◆変更内容は、開店・閉店時刻の変更に関するものが75件と最も多く、営業時間を延長する傾向にある。
- ◆店舗面積の増床について、主だったものは「JR大分シティ」オープンや「ニトリモール宮崎」オープンに伴うもの等がみられる。

【変更内容の推移(九州)】

単位：件



単位：件

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
店舗面積の合計	20	9	12	10	10	14	39
駐車場の収容台数	34	34	32	28	24	24	35
駐輪場の収容台数	23	28	31	29	29	28	30
荷捌き施設の面積	17	15	32	58	17	16	31
廃棄物等保管施設の容量	22	18	21	16	17	13	26
開店・閉店時刻	41	27	61	41	104	99	75
届出件数	88	79	114	143	156	135	120

※変更届出件数は法6条2項による変更と、法附則5条による既存店変更の合計